

## 関係者等アンケート調査結果の概要

## 1 調査の目的

子どもと接する機会の多い児童福祉関係施設の職員等が、子どもの健やかな育ちや子どもの権利に対してどのような認識を持っているのか、現状を把握し、今後の条例制定に向けた基礎資料とする。また、調査の機会を通して、条例の内容について関係機関等の職員の理解を深める場とすることで、条例制定後に、すべての子どもたちの声や願いが届き、自分らしく過ごすことのできるまちづくり施策に繋がるよう、周知啓発の機会とする。

## 2 調査対象及び回答状況

## (1) 児童福祉施設関係等

対象分類 (第2章)	配付枚数	回答数	回答率
保育所・幼稚園・認定こども園等	365	165	45.2%
児童クラブ	203	175	86.2%
小学校・中学校	117	74	63.2%
児童発達支援・放課後等デイサービス	253	104	41.1%
主任児童委員	100	79	79.0%
未回答	—	2	—
合計	1,038カ所	599	57.7%

対象分類	配付枚数	回答数	回答率
PTA会長	117	57	48.7%

調査方法：電子申請システム、郵送・FAX・メールによる紙回答

調査時期：令和3年11月8日（月）～令和3年11月30日（火）

## (2) まちかどコメンテーター

対象分類	配付枚数	回答数	回答率
まちかどコメンテーター	328	236	72.0%

調査方法：電子申請システム、郵送・FAXによる紙回答

調査期間：令和3年11月5日（金）～令和3年11月26日（金）

## 3 調査結果

## (1) 児童福祉施設関係等

## ①問2 児童の権利に関する条約の認知度

詳しく知っている	ある程度知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない	未回答
6.2%	59.6%	28.9%	4.0%	1.3%

## ②問3 大切だと思う子どもの権利

区分	割合
1 人種・性別・宗教・障害・貧富の差・考え方などによって差別されないこと	92.5%
2 子どもにかかわる全ての活動において、子どもの最善の利益が第一に考えられること	67.9%
3 生きること・育つこと	88.3%
4 子どもに影響を与える全ての事柄について、自分の意見を自由に表すこと	60.9%
5 子ども同士で集まったり、活動のためのグループを作ったりすること	49.6%
6 親からの暴力やひどい扱いから守られること	93.7%
7 医療・保険サービスを受けること	76.3%
8 生活が難しい場合に、国からお金などのサポートを受けること	72.6%
9 心や体を十分に成長させていけるような生活を送ること	84.8%
10 教育を受けること	89.6%
11 休んだり遊んだりすること	63.4%
12 スポーツ・文化・芸術活動に参加すること	59.9%
13 心や体によくはない危険な仕事や就学に支障をきたす仕事から守られること	67.4%
14 誰からも幸せを奪われないこと	80.1%
15 「子どもの権利条約」を知ること	58.9%
16 大切だと思う権利はない	0.0%
17 わからない	0.0%

## ③問4 職場における子どもの権利に関する研修機会の有無

ある	時々ある	ない	未回答
30.1%	40.1%	28.0%	1.8%

## ④問5 職場で子どもに関わることを決める時に、子どもの意見等を聞いているか

聞いている	どちらかといえば聞いている	どちらかといえば聞いている	聞いている	未回答
33.6%	43.9%	16.5%	3.0%	3.0%

⑤問6 子どもの権利を尊重する社会の構築に向けて、市役所に期待すること

ア 大人や社会に対する意識啓発等に関すること

子どもの権利や児童の権利に関する条約について、研修会や啓発活動を望む声が多く寄せられた。

- (ア) 子どもの権利条約について、子どもに関する職種等には、広報が届いていると感じるが、その他の職種や保護者等にはまだまだ深く知れ渡っていないと感じています。
- (イ) 子どもの権利の守られる社会は、大人も暮らしやすい社会です。まず大人の意識を啓発する機会を設け、大人に働きかけてほしい。
- (ウ) このようなアンケートを通じて、国連で採択された「子どもの権利」について考える事が出来たので、これからも研修等の機会を増やして頂けるとありがたい。
- (エ) 社会全体の意識を高めるためにも、市全体で取組むという姿勢を見せてほしい。

イ 子どもに対する取組に関すること

子どもに対する取組としては、子ども自身が権利や人権について学ぶことができる機会についての意見、子どもが安心して過ごすことのできる居場所に関する意見、子どもの状況に応じた相談窓口に関する意見、様々な体験活動に関する意見などが寄せられた。

- (ア) 子どもの権利を子供自身が知る為に、小学生・中学生・高校生ぐらいを対象に、子供が学ぶ機会を作ってほしいと思います。
- (イ) 集まれる場所を保証する為に、子どもの居場所作りのバックアップをお願いしたい。
- (ウ) 子ども自身が困った時、スムーズに相談、フォローできるような子ども向けの気軽な窓口づくり。
- (エ) 子どもの豊かな人間性、社会性を育てるための様々な活動や他者との関わりを通して将来の社会的自立へと繋げる子供の参加を増やす。そのためには、いろいろな体験活動の場をもうけ地域活動やボランティア活動により他者との連携や協調を身につける。
- (オ) 市民サービス＝親へのサービスとなっているので子ども主体に考え、それを主張する部分があっても良いのではと思う。

ウ 子どもの意見尊重について

子どもに関する取組の中でもとりわけ多かったのは、市の方でも子どもたちの声を聴いて、現状を把握して欲しいとの意見であった。

- (ア) 市の方々が子どもたちと交流し子どもたちの考えを聞いてください。
- (イ) 自分で主張できる子どもだけではなく、声の小さい子ども、声を出せない子どもの意見や気持ちを確認するためのメソッドを構築してほしい。声を挙げないだけで、抱えている思いがあるという子どもはたくさんいると思います。
- (ウ) 子どもの最前の利益を保証し、教育、スポーツ、文化、また、生きる権利、意見表明など子どもの意見を行政に反映出来る仕組みをお願いします。

エ 保護者・家庭の支援に関すること

子どもへの支援はもちろん、保護者や家庭が精神的・経済的にゆとりを持って子どもと接することが重要であることから、子育て支援を望む意見が寄せられた。

- (ア) 行政機関として、一番期待することは、子どもが幸せに生活できるように、家庭に必要な金銭的な援助や医療・保険サービスが受けられるよう、また必要な家庭に十分に行き届けられるようにしてほしい。
- (イ) 子どもの成長を支える主軸となる保護者が、余裕を持って子どもの成長に関われるよう、保護者を支える仕組みが大切だと感じます。子どもとの時間を設けても自身の事で精一杯といった状況も感じます。経済的にも精神的にも時間的にも保護者が子どもたちに寄り添えるような制度作りに期待します。

オ 児童虐待・子どもの貧困等に関すること

子どもや保護者に対する支援の中でも、児童虐待や子どもの貧困問題を危惧する意見が多く寄せられた。

- (ア) 児童虐待で子どもの命が失われる事件が後を絶たない。市役所（福祉課）も児童相談所、警察と連携して、もう少し踏み込んだ対応をしてほしい。
- (イ) 困っている子ども達、その親が安心してすごせる様に、児童虐待等の事件が起こらない様に進んで介入して助けて欲しいです。困っている人がどこでも情報を得られる様に目に見える行政作りをして欲しい。
- (ウ) コロナ禍で、子どもも貧困の差がでていとおもいます。必要な方に十分いきわたる補助金制度にして欲しい。
- (エ) 家庭の状況により、様々な格差があります。支援員として、立ち入ることのできないもどかしさを感じます。

カ 子どもの育つ環境に関すること

家庭の状況に関わらず、子どもが平等に教育を受けることができ、生活していくことのできる環境を整えて欲しいとの意見が多く寄せられた。また、子どもが遊ぶことのできる公園の整備など、ハード面に関する意見も見られる。

- (ア) 親の収入の違いや立場で、子どもの生き方、学びの環境が奪われることがないようにしてほしい。（政策面から）
- (イ) 育つ権利がそれぞれの環境によって、子ども一人ひとり格差が大きいと感じます。親を選んで生まれてくるわけではない事を考えると、できるだけ平等に育つ環境作りを進めて頂きたいと感じます。
- (ウ) 子どもの権利を尊重する社会というところでは、公園で子どもたちが自由に遊べる場所になっていない所があると感じます。条例等によって子どもたちの遊びが制限されているので改善してほしいです。

キ 保育所・児童クラブ等に関すること

児童クラブや保育所等に関する意見が多く寄せられた。共通点として、子どもの育ちに関わる関係団体・職員への支援を行うことが、子どもの健やかな育ちにつながるという視点で、支援員や保育士の人員不足、待遇改善、質の向上などを求める意見が見られる。

- (ア) 児童クラブが過ごしやすい場である事。支援員の人員配置の充実、児童クラブの環境（余裕のある児童受入で過ごす室内、外で遊ぶスペース）の確保。
- (イ) 乳幼児時期に様々な経験をすることは非常に大切なことです。子どもの権利を身近で支える保育士等が鹿児島市では不足の傾向にあります。不足とならない効果的な対策を期待します。
- (ウ) 子どもの権利を尊重するために、その子どもたちに教育・保育を実践する職員がイキイキと働き、心身ともに余裕を持つことができるような施策をとって欲しいと思います。

ク 障害・発達支援関係について

子どもの発達の関係では、グレーゾーンの子どもに対する支援の充実を求める意見や、保護者が相談しやすいよう、情報提供の在り方などに対する意見が寄せられた。

- (ア) ネット社会になり、みんなが障害に対しての知識を得る機会が増えてはいるが、色々な情報が多すぎて、逆に分かりにくくなっているように感じる。情報に振り回される場合もある。字面で子どものことを判断せず、その子自身をわかってあげられる環境をつくってほしいです。
- (イ) 障害者保育を必要としている保護者が困って預け先がないと私共に相談されるケースが多い。障害認定される前のグレーゾーンの子どもの預け先、又は相談窓口など細かいケアをしていただきたいと思う。

ケ 関係機関との連携について

子どもや家庭の支援について、関係機関による連携を望む意見が多く寄せられた。また、関係機関同士がつながるための旗振り役を、市に期待する意見も見られる。

- (ア) 子どもの人権が確実に守られるために、学校と行政の連携を密にすることが不可欠であるが、行政間（市⇒県、市⇒他課どうし）のつながりも大切にしてほしい。
- (イ) 保育幼稚園課、こども福祉課、障害福祉課、保健センター、（児相）等の横のつながりが、もっと円滑にできると良い。情報がバラバラで収約がなされにくい印象がある。
- (ウ) 子どもと関わる団体（学校・児童クラブなど）は、多岐にわたっており、それぞれ職場で必要な学ぶことの内容がちがいます。市は、それぞれが連携をとれるように結びつける役割をしていただきたいと思います。

コ 市役所等の体制等について

子どもに対する支援を充実させるためにも、市の子ども関係部署の人員や予算措置などの充実を望む意見が寄せられた。

- (ア) 子どもを支援する部署は、人員を増やして十分に手厚く支援できる鹿児島市であって欲しいと思います。
- (イ) 行政関係者の専門職員が効果的に動いていない（人数不足、力量不足）ので、もっと充実させてほしい。
- (ウ) 子どもにかかわる仕事をしている方々はもちろんですが、すべての職員が、知識を持ち、共通の定義、認識を持ち、他人事にせず、条例を作ってそれでおしまいにならないでほしいです。人員不足や専門的な知識のない認識不足で、大切な子どもたちの心や命が失われることがないようにして欲しいです。

サ その他市役所における取組に関すること

その他の意見としては、こども医療費助成制度に関する意見や、市民から相談等が合った場合の職員の態度・対応に関する意見、子どもの最善の利益を踏まえた子ども支援を望む意見などが寄せられた。

- (ア) 幼児の発達に応じた医療体制、検診などの充実
- (イ) 子どもたちが直接市役所と関わることはほぼないでしょう。そのため、子どもを支える大人にとって、市役所が開かれた場所であることが大切だと思います。事務手続きのつながりではなく、市役所という居場所があることにより、人がつながり、子どもたちを含めた市民にとって暮らしを支える場になって欲しいと思います。
- (ウ) 子どもが主役の視点がぶれないことを願います。

(2) PTA会長、まちかどコメンテーター

①問3 児童の権利に関する条約の認知度

	詳しく知っている	ある程度知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない	未回答
PTA会長	0.0%	24.6%	47.4%	28.1%	0.0%
まちかどコメンテーター	2.5%	23.7%	39.0%	34.7%	0.0%

②問4 子どもの権利のイメージ（子どもが人間らしく生きるのに必要なもの）

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	未回答
PTA会長	71.9%	21.1%	7.0%	0.0%	0.0%	0.0%
まちかどコメンテーター	72.9%	21.6%	4.7%	0.8%	0.0%	0.0%

③問4 子どもの権利のイメージ (子どもが健やかに成長するために保障されるべきもの)

	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わ ない	未回答
PTA会長	82.5%	14.0%	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%
まちかどコメ ンテーター	78.8%	16.9%	3.4%	0.4%	0.0%	0.0%

④問4 子どもの権利のイメージ (大人と同じように当然認められるべきもの)

	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わ ない	未回答
PTA会長	56.1%	19.3%	17.5%	3.5%	1.8%	1.8%
まちかどコメ ンテーター	51.7%	30.9%	11.0%	3.8%	1.7%	0.8%

⑤問4 子どもの権利のイメージ (大人と比べてある程度の制限は仕方ない)

	そう思う	どちらかとい えば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わ ない	未回答
PTA会長	45.6%	33.3%	7.0%	7.0%	7.0%	0.0%
まちかどコメ ンテーター	34.3%	37.7%	16.1%	5.9%	5.5%	0.4%

⑥問4 子どもの権利のイメージ (権利は義務を果たしてこそ認められるもの)

	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わ ない	未回答
PTA会長	31.6%	21.1%	33.3%	10.5%	3.5%	0.0%
まちかどコメ ンテーター	32.2%	29.2%	21.6%	8.9%	7.2%	0.8%

⑦問4 子どもの権利のイメージ (権利ばかり尊重すると、子どもがわがまになる)

	そう思う	どちらかとい えば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わ ない	未回答
PTA会長	15.8%	31.6%	28.1%	10.5%	14.0%	0.0%
まちかどコメ ンテーター	20.8%	26.3%	29.2%	13.6%	9.7%	0.4%

⑧問4 子どもの権利のイメージ (自分の権利を大切にされることで、子どもは他人の権利も尊重できるようになる)

	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わ ない	未回答
PTA会長	43.9%	36.8%	15.8%	0.0%	3.5%	0.0%
まちかどコメ ンテーター	39.8%	39.4%	14.8%	3.8%	2.1%	0.0%

⑨問4 子どもの権利のイメージ (大人にとって面倒なもの)

	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わ ない	未回答
PTA会長	3.5%	5.3%	24.6%	15.8%	50.9%	0.0%
まちかどコメ ンテーター	4.7%	8.1%	25.0%	16.5%	45.3%	0.4%

⑩問4 子どもの権利のイメージ (子どもに権利は必要ない)

	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わ ない	未回答
PTA会長	3.5%	1.8%	8.8%	17.5%	68.4%	0.0%
まちかどコメ ンテーター	3.0%	2.1%	7.2%	14.0%	73.3%	0.4%

⑪問5 大切だと思う子どもの権利

	PTA会長	まちかど コメンテーター
1 人種・性別・宗教・障害・貧富の差・考え方などによって差別されないこと	87.7%	89.8%
2 子どもにかかわる全ての活動において、子どもの最善の利益が第一に考えられること	54.4%	43.6%
3 生きること・育つこと	96.5%	86.9%
4 子どもに影響を与える全ての事柄について、自分の意見を自由に表すこと	63.2%	53.4%
5 子ども同士で集まったり、活動のためのグループを作ったりすること	45.6%	42.8%
6 親からの暴力やひどい扱いから守られること	87.7%	83.5%
7 医療・保険サービスを受けること	87.7%	75.8%
8 生活が難しい場合に、国からお金などのサポートを受けること	84.2%	65.7%
9 心や体を十分に成長させていけるような生活を送ること	94.7%	72.5%
10 教育を受けること	94.7%	83.9%
11 休んだり遊んだりすること	71.9%	55.5%
12 スポーツ・文化・芸術活動に参加すること	75.4%	54.7%
13 心や体によくない危険な仕事や就学に支障をきたす仕事から守られること	70.2%	53.8%
14 誰からも幸せを奪われないこと	78.9%	68.6%
15 「子どもの権利条約」を知ること	47.4%	42.4%
16 大切だと思う権利はない	0.0%	0.4%
17 わからない	0.0%	0.0%

⑫問6 子どもの社会参加の状況（家庭で大事な物事やルールを決める時に意見を言うこと）

	機会は適度にある	機会はありますが、今後もっと必要	機会はあまりないが、今後必要	機会はあまりないが、特に必要ない	分からない	未回答
PTA会長	49.1%	33.3%	12.3%	1.8%	1.8%	1.8%
まちかどコメンテーター	43.6%	27.1%	22.5%	0.8%	5.9%	0.0%

⑬問6 子どもの社会参加の状況（学校行事・イベント企画運営に参加すること）

	機会は適度にある	機会はありますが、今後もっと必要	機会はあまりないが、今後必要	機会はあまりないが、特に必要ない	分からない	未回答
PTA会長	28.1%	42.1%	22.8%	0.0%	7.0%	0.0%
まちかどコメンテーター	37.3%	22.9%	26.3%	3.4%	9.3%	0.8%

⑭問6 子どもの社会参加の状況（学校等の部活動等の活動内容に意見を言うこと）

	機会は適度にある	機会はありますが、今後もっと必要	機会はあまりないが、今後必要	機会はあまりないが、特に必要ない	分からない	未回答
PTA会長	17.5%	40.4%	26.3%	3.5%	12.3%	0.0%
まちかどコメンテーター	27.1%	22.0%	29.7%	9.3%	10.6%	1.3%

⑮問6 子どもの社会参加の状況（学校の決まり事に意見を言うこと）

	機会は適度にある	機会はありますが、今後もっと必要	機会はあまりないが、今後必要	機会はあまりないが、特に必要ない	分からない	未回答
PTA会長	12.3%	33.3%	36.8%	5.3%	12.3%	0.0%
まちかどコメンテーター	18.2%	19.5%	37.3%	10.6%	13.1%	1.3%

⑯問6 子どもの社会参加の状況（地域の行事・イベントの企画・運営に参加すること）

	機会は適度にある	機会はありますが、今後もっと必要	機会はあまりないが、今後必要	機会はあまりないが、特に必要ない	分からない	未回答
PTA会長	17.5%	40.4%	33.3%	3.5%	5.3%	0.0%
まちかどコメンテーター	22.9%	15.7%	37.3%	10.2%	13.1%	0.8%

⑰問6 子どもの社会参加の状況（地域のまちづくりやボランティア活動に参加すること）

	機会は適度にある	機会はありますが、今後もっと必要	機会はあまりないが、今後必要	機会はあまりないが、特に必要ない	分からない	未回答
PTA会長	15.8%	36.8%	38.6%	3.5%	5.3%	0.0%
まちかどコメンテーター	20.3%	22.9%	39.0%	7.2%	9.3%	1.3%

⑱問6 子どもの社会参加の状況（鹿児島市政について意見を言うこと）

	機会は適度にある	機会はありますが、今後もっと必要	機会はあまりないが、今後必要	機会はあまりないが、特に必要ない	分からない	未回答
PTA会長	3.5%	7.0%	63.2%	10.5%	15.8%	0.0%
まちかどコメンテーター	8.5%	12.3%	48.3%	13.1%	16.5%	1.3%